

本調査は、小規模事業者の皆様の事業活動支援の一環として、市内5業種100社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を4半期毎に実施し、集計分析を行っております。

平成30年7～9月期の調査結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。

【調査期間】平成30年7月～9月

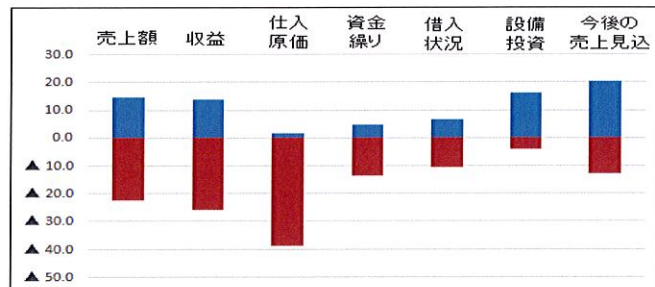
【調査方法】建設業・小売業・卸売業・製造業・観光サービス業の5業種を中小企業を中心に100社にアンケートをお願いした。(回答企業数 62社 62%)

※DI値の算出方法:①かなり増加等=1、②やや増加等=0.5、③不変=0、④やや減少=▲0.5、⑤かなり減少=▲1とし、
(①+②)／全体数×100－(④+⑤)／全体数×100でDI値を算出する。

問1 今期の貴社の状況は、昨年の同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

※選択肢の目安:「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

全 体		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	1	16	21	20	4	減少
収益	増加	1	15	19	22	5	減少
仕入原価	低下	0	2	16	40	4	上昇
資金繰り	好転	0	6	40	15	1	悪化
借入状況	減少	0	8	43	9	2	増加
設備投資	低下	1	18	39	3	1	上昇
今後の売上見込	増加	0	25	22	14	1	減少



平成30年7月～9月にかけての全業種の売上額については、DI値で▲8.1ポイント、収益については、▲12.1ポイントと減少であった。要因として7月豪雨、台風等の被害よる、公共交通機関の運休や道路の不通等が考えられる。特に観光サービス業については、空港の閉鎖によるインバウンドの減少が大きかった。

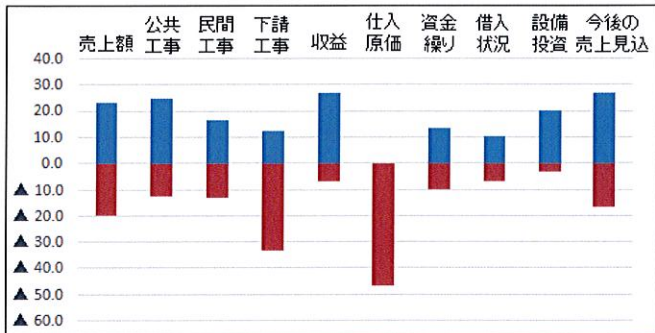
仕入原価については、▲37.1ポイントと全業種でマイナスとなっており、特に建設業▲46.7ポイント、製造業▲45.8ポイントと大幅なマイナスとなっている。

経営上の問題点については、人手不足46.8%、仕入原価の上昇41.9%、売上減少40.3%と4割以上の回答であった。特に建設業では73.3%と技術者等の人手不足が深刻な問題となっている。

重点施策については、人材の確保が41.9%の回答で建設業では73.3%、卸売業、製造業が50.0%であった。

建 設 業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増加	1	5	4	4	1	減少
公共工事(元請)	増加	2	2	6	1	1	減少
民間工事(元請)	増加	0	5	6	4	0	減少
下請け工事	増加	1	1	4	4	2	減少
収益	増加	1	6	6	2	0	減少
仕入原価	低下	0	0	3	10	2	上昇
資金繰り	好転	0	4	9	1	1	悪化
借入状況	減少	0	3	10	2	0	増加
設備投資	低下	0	6	8	1	0	上昇
今後の売上見込	増加	0	8	2	5	0	減少

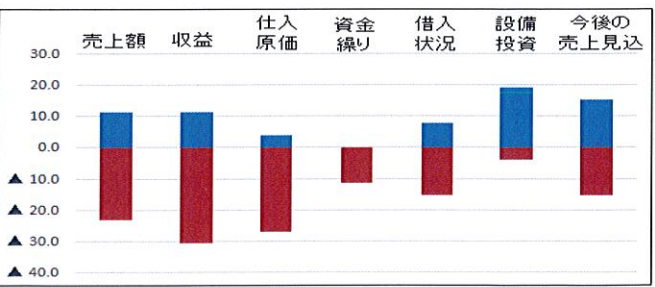
建設業のDI値では、公共工事、民間工事は増加であるが、下請け工事が▲20.8ポイントで売上額は微増となっている。仕入原価については、DI値で▲46.7ポイントで8割の企業が上昇との返答であった。



※公共工事売上なし3件、下請け工事売上なし3件。

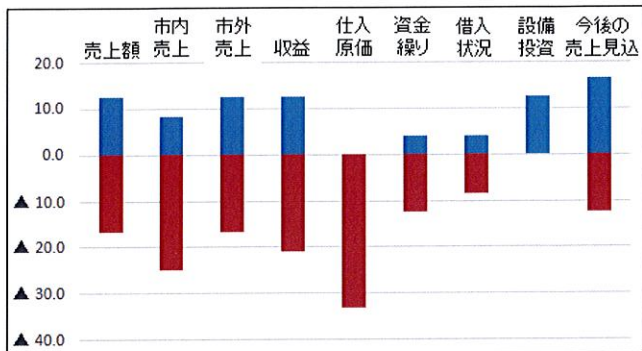
小 売 業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	0	3	5	4	1	減少
収益	増加	0	3	4	4	2	減少
仕入原価	低下	0	1	6	5	1	上昇
資金繰り	好転	0	0	10	3	0	悪化
借入状況	減少	0	2	8	2	1	増加
設備投資	低下	1	3	8	1	0	上昇
今後の売上見込	増加	0	4	6	2	1	減少

小売業のDI値では、仕入原価▲23.1ポイントと収益▲19.2ポイント、資金繰り▲11.5ポイントの悪化の要因と考えられる。重点経営施策で経費の節減53.8%との回答があり、さらなる経費節減を行っている状態である。



卸 売 業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増加	0	3	5	4	0	減少
市内売上	増加	0	2	5	4	1	減少
市外売上	増加	0	3	5	4	0	減少
収益	増加	0	3	4	5	0	減少
仕入原価	低下	0	0	4	8	0	上昇
資金繰り	好転	0	1	8	3	0	悪化
借入状況	減少	0	1	9	2	0	増加
設備投資	低下	0	3	9	0	0	上昇
今後の売上見込	増加	0	4	5	3	0	減少

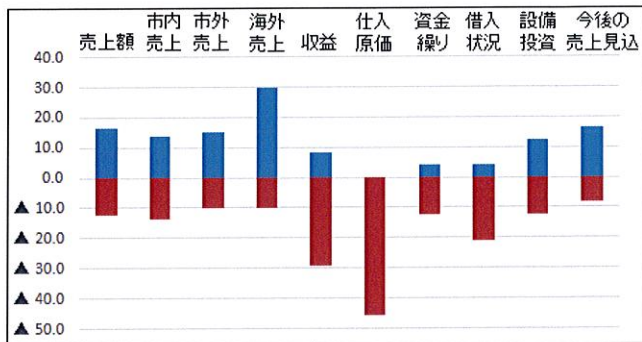
卸売業のDI値では、仕入原価が上昇し▲34.6ポイントとなっており、また、市内売上▲16.7ポイント、市外売上▲4.2ポイントと厳しい状況が続いているが、今後の売上見込は4.2ポイント増加している。



製 造 業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増加	0	4	5	3	0	減少
市内売上	増加	0	3	6	1	1	減少
市外売上	増加	0	3	5	2	0	減少
海外売上	増加	1	1	2	1	0	減少
収益	増加	0	2	4	5	1	減少
仕入原価	低下	0	0	2	9	1	上昇
資金繰り	好転	0	1	8	3	0	悪化
借入状況	減少	0	1	7	3	1	増加
設備投資	低下	0	3	7	1	1	上昇
今後の売上見込	増加	0	4	6	2	0	減少

製造業のDI値では、仕入原価で▲45.8ポイントと大幅に上昇しているが、売上額は4.2ポイントと増加している。

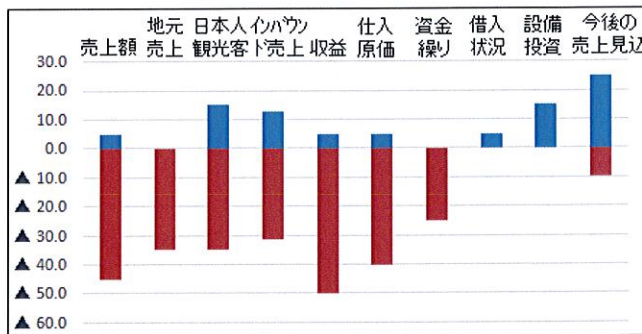
特に海外売上が20.0ポイントとなっており、海外へ販路拡大を行っている企業は売上が増加している。



※市内売上なし1件、市外売上なし2件、海外売上なし7件。

観光サービス業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増加	0	1	2	5	2	減少
地元売上	増加	0	0	3	7	0	減少
日本人観光客売上	増加	0	3	2	3	2	減少
インバウンド売上	増加	0	2	3	1	2	減少
収益	増加	0	1	1	6	2	減少
仕入原価	低下	0	1	1	8	0	上昇
資金繰り	好転	0	0	5	5	0	悪化
借入状況	減少	0	1	9	0	0	増加
設備投資	低下	0	3	7	0	0	上昇
今後の売上見込	増加	0	5	3	2	0	減少

観光サービス業のDI値では、災害による観光客の減少により、売上額▲40.0ポイント、収益▲45.0ポイントと悪化しており、それに伴い資金繰りも▲25.0ポイントと悪化している。



※インバウンド売上なし2件。

問2 現在直面している経営上の問題点についてお答えください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計
①売上減少	4	6	6	2	7	25
②人手不足	11	4	4	6	4	29
③採算の悪化		1	1	2	1	5
④仕入価格の上昇	8	3	4	5	6	26
⑤後継者問題	1	2	2	2	1	8
⑥資金繰りの悪化	1	1		2	1	5
⑦その他	1		2			3

※その他:今後の経営の方向性など(建設業)、廃業の時期(卸売業)、人件費の上昇(卸売業)

問3 当面の重点経営施策についてお答えください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計
①経費の節減	7	7	3	3	5	25
②人材の確保	11	3	4	5	3	26
③販路拡大	2	5	6	6	4	23
④設備投資	3	1	2	1	1	8
⑤事業計画策定	1	1	2	2	4	10
⑥業務の効率化	5	2	3	4	6	20
⑦その他						0

ご協力頂きました事業所様、ありがとうございました。